

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 市川和幸 (一宮大祐)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5億円
		通常砂防事業 たんばやまがわ 丹波山川	神崎郡市川町 しもうしお 下牛尾	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
神崎郡市川町下牛尾				H25	H27
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から災害時要援護者関連施設等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 8.0m, L = 50.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(二)市川水系岡部川に流入する土石流危険溪流 ・流域は溪床土砂が厚く堆積しており、近年の降雨による溪岸の浸食も進むなど、流域の荒廃が進行している。 ・谷出口に災害時要援護者関連施設である保育所があり、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約1ha(長さ150m、最大幅150m程度)に及ぶ。 ・瀬加保育所(災害時要援護者関連施設)、人家10戸、県道西脇八千代市川線				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・特に防災上の配慮を要する災害時要援護者関連施設を保全することにより、土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・周辺道路の利用に地元の理解が得られており、またえん堤設置位置付近に広い作業ヤードを確保することができることから、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・県道からの視認性を考慮し化粧型枠を採用するとともに、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・自力による避難が困難な保育所があることに加え、保全人家が多いことから、早期着手に対する地元からの要望が強い。また、県道の保全効果も期待できる。 以上より、H25年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

たんばやまがわ
丹波山川
[市川町]



計画概略図
縮尺 1 : 3,000

